



## ～振り込め詐欺被害の認知状況～

- ◆ 6月中は2件の振り込め詐欺を認知しました。
- ◆ 本年の合計は28件(被害額は約3,700万円)です。

### 【6月中の振り込め詐欺の犯行手口】

- 区役所職員を名乗る男から「医療費の還付金があります。取引銀行での代行手続きが可能です。取引銀行名、口座番号、暗証番号を教えてください。」などと電話があり、さらに、銀行員を名乗る男から「手続きには、新しいカードに交換する必要があります。担当者がお伺いしますので、キャッシュカードを準備しておいてください。」などと電話あった。その後、自宅に訪れた銀行員を名乗る男にキャッシュカードを手渡してしまった
- 長男を名乗る男から「駅のトイレで携帯電話をなくしてしまった。今、上司の携帯電話を借りて電話している。」などと電話があり、さらに、駅員を名乗る男から「息子さんのカバンが見つかった。本人確認のため、息子さんの住所、氏名、生年月日を教えてください。」などと電話があった。その後、再び、長男を名乗る男から「カバンに入っていた取引先との契約に使う送金カードをなくしてしまった。今すぐ300万円が必要だ。上司が200万円を用意してくれた。残り100万円、何とかしてほしい。」などと相談を受け、長男の仕事のためにはお金が必要だと誤信し、指示されるまま、駅付近の路上で長男の同僚を名乗る男に現金100万円を手渡してしまったというものでした。

要注意!

## こんな電話は詐欺!



- ◆ 『急にお金が必要!用意して!』
- ◆ 『医療費の還付があります。』
- ◆ 『キャッシュカードを預かります。』



## 『キャッシュカードを預かります。』は詐欺!

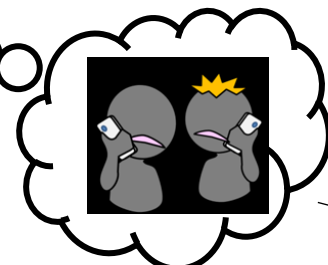
最近、キャッシュカードを騙し取る手口が増加しています。

犯人は、親族、警察官、区役所職員、銀行員、家電量販店員、デパート店員等を名乗って、みなさんのご自宅に電話をかけ、言葉巧みに、キャッシュカードの『暗証番号』を聞き出し、みなさんの大切なキャッシュカードを騙し取ろうとします。

キャッシュカードの暗証番号を知っている犯人は、あなたの銀行口座から簡単にお金を引き出してしまいます。

キャッシュカードは、絶対に他人に渡さないでください!

## 『留守番電話の常時設定』をお願いします。



チエツ!  
留守番電話だ!